

三重県熊野市特産

香酸柑橘 新姫

～熊野の箱入り娘～

新種の柑橘 新姫(ニイヒメ)

- 新姫(ニイヒメ)は、熊野市にある新鹿(あたしか)町という小さな町で偶然発見された新しい柑橘で、日本古来の野生種ではなく、タチバナとマンダリンオレンジが自然交配してできた交雑品種です。平成9年には、新しい柑橘として品種登録されました。
- 果実は、直径3cm前後で、重さが20～30gと小さくてかわいい橘に似た柑橘です。スダチやシークワサーのように酸味が強く、爽やかな香りに特徴があります。

多くのフラボノイドを含む 新姫果皮

- 新姫果皮にはフラボノイド系のひとつであるヘスペリジンなどの機能性成分が多く含まれており、アトピー皮膚炎、抗コレステロール低下作用・高血圧などに効果が期待できる素材です。また、温州みかんには及ばないものの、βカロテンは、すだちの30倍以上含まれていることがわかりました。
- 鈴鹿医療科大学・大槻助教授の学会発表によりますと、新姫果皮には、肝臓脂肪蓄積抑制作用があり、血清アディポネクチンの濃度が有意な高値を示したことから、メタボリックシンドロームを予防する効果が期待されています。

新姫(ニイヒメ)の用途・商品例

- スタンレー薬品の新姫(ニイヒメ)は、果皮乾燥品と果汁の2種類のご提案が可能です。製品のワンポイントやアクセントに！
- 果皮乾燥品は、健康食品や製菓などの加工食品にご提案可能です。
(例:クッキーや飴菓子など)
- 果汁は、ぽん酢などの加工食品や化粧品としてご提案可能です。
(例:ぽん酢やドレッシングなど)



新姫

- 《学名》 *Citrus* L.
- 《和名》ニイヒメ
- 《分類》かんきつ属
- 《産地》三重県熊野市



スタンレー薬品有限会社